～市民がつくる～
三木市男女共同参画センター情報誌

こらぼーよ

こらぼーよとは
Collaboration
コラボレーション
（共同・協働）と
～しようよの組合せ

第78号
2026・秋



年間テーマ
「 若者・女性に
選ばれるまち三木へ 」

秋号のテーマ「おもいを声に」

特集『「女性議会」を開催しました』

- 当日の流れや質問内容を紹介
- 傍聴者や参加者の感想　他

令和８年度　弁護士による法律セミナー

あきらめないで！養育費

～その定め方と新制度「法定養育費」～

講師：吉倉（よしくら） 美加子（みかこ）さん（弁護士）

日時：11月25日（水）
10時～11時30分
会場：三木市立教育センター
４階　中研修室
定員：先着40名（要申込）
申込：男女共同参画センター
☎0794-89-2331



11月12日 から25 日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫・パートナー等からの暴力、性犯罪、セクハラ、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク

特集

三木市で はじめて

「女性議会（じょせいぎかい）」を開催しました！

秋号では、**「おもいを声に」**のテーマのもと、８月に開催された「女性議会(模擬議会)」の特集をお届けします。



01 「市議会」ってなに？

市議会は、市民の代表として選挙で選ばれた**「市議会議員」**が集まり、市の予算や条例(まちのルール)を決める場です。

より住みやすいまちづくりを実現するために、話し合いを重ねています。

02 「女性議会(模擬議会)」ってなに？

「女性議会(模擬議会)」は、**「みきウィメンズすてっぷあっぷ塾(R8 年度)」**の締めくくりとして、三木市男女共同参画センターが企画した事業です。

受講生が１日**模擬議員となり**、市の事業について、気になることや課題、提案等を「一般質問」として発表します。その質問に、市の職員が回答(答弁)します。

当日は傍聴者が見守る中、**実際の議場で7名の受講生**が質問し、市の担当課長が回答しました。

03 「すてっぷあっぷ塾」ってなに？

「みきウィメンズすてっぷあっぷ塾」は、**「女性の可能性を広げる一歩を踏み出そう！」**というコンセプトで開催する連続講座で、今年度で５年目の開催になります。

令和8年度は、**「女性のための行政まなび体験講座～知る・考える・議会で体験～」**を開催。受講生は市役所の仕事や行政のしくみを学び、「女性議会」で思いを伝えました。

感想① 「女性議会」を傍聴して ～自分の思いを届ける～

傍聴して感じたことは、塾生一人ひとりが未来への可能性を願い、個々を尊重し支え合う社会の実現に向けて、**「おもいを声に」して届けている**、ということでした。

「女性議会」では、「三木市を住みやすい地域にすること」、「安心・安全な暮らしを確保すること」、そして「行政機関がどのように市民生活に密接にかかわっているか」など、暮らしに根ざした質問が相次ぎました。例えば、高齢化社会で課題となる、災害時の支援や死亡時の手続きに関する質問などが挙げられます。

これら一つひとつの内容は、誰にでも起こりうる身近な問題や生活に関わるもので、**「誰もが困らない・取り残されないまちづくり」**への強い思いが伝わってきました。私たちがいざという時に困らないよう、政治・行政の場でしっかりと議論され、対応策が整えられる、ということを知っておくだけでも、生活に安心感や充実感が生まれると思います。



「議場」ってこんなところ

今後の市が抱える様々な課題に取り組むためには、社会的・文化的に作り上げられた男女格差（ジェンダーギャップ）を解消していくことが重要だと、改めて思いました。

（編集委員：T）

「すてっぷあっぷ塾(R８)」について、もっと詳しく知りたい方はこちら

市のホームページにつながります ▶

詳しい質問内容や市の回答を知りたい方はこちら



当日の流れと質問内容

14:00 開会

【受講生代表(議長)あいさつ】

本日、ここにおられる市職員の皆様を前に、７名の塾生が、これまでの学びの集大成として質問に立ちます。

今日、私たちが手にするマイクは、同じ地域で暮らす一人の市民として、あるいは一人の受講生として、**大切な人たちの想いを直接、市政へと届けるためのバトンです。**

今日のために積み重ねてきたこれまでの学びと、自分自身の生活者としての実感を信じて、私たちの生きた言葉で、堂々と届けていきましょう！ **（一部抜粋）**

１番 アフタースクールにおける保護者負担の軽減について

質問① 「アフタースクール利用料金の引き下げと負担軽減」について

質問② 「こども園等の設備・機能を活用した給食配送の仕組みづくり」について

回答 教育・保育課

２番 地域によるデジタル格差の解消と通信インフラ整備について

質問① 「地域間の通信環境格差と各課の連携」について

質問② 「通信弱地域の把握」について

質問③ 「外部との連携」について

回答 デジタル推進課

３番 在宅避難者・車中泊避難者への支援のありかたについて

質問① 「在宅避難者・車中泊避難者への支援」について

質問② 「車中泊避難に関する安全対策」について

質問③ 「避難所外避難に向けた平時からの備え」について

回答 危機管理課

４番 自治会の機能低下について

質問① 「三木市としての現状認識や取組」について

質問② 「お困りの自治会への助言・支援と情報発信」について

質問③ 「市職員が自ら自治会員として地域活動に参加しやすくする取り組みについて

回答 市民協働課・総務課

５番 多様な可能性を生かす、三木市の農福連携について

質問① 「マッチングまでの流れや情報の提示」について

質問② 「『農福連携』の捉え方と外部との連携」について

質問③ 「作業分析のフォロー体制」について

回答 障がい福祉課・農業振興課

６番 スナッグゴルフを活用した地域スポーツの推進について

質問① 「多様な世代へのスナッグゴルフの普及」について

質問② 「各学校に配備された用具の活用状況と有効活用」について

質問③ 「誰もが気軽に親しめるゴルフ風スポーツの推進」について

回答 ゴルフのまち推進課

７番 家族が死亡した後の手続きについて

質問① 「複数課にまたがる窓口の現状認識と課題」について

質問② 「『おくやみハンドブック』の活用状況と今後の方向性」について

質問③ 「おくやみコーナーの設置時期」について

回答 市民課



15:45 閉会

【受講生代表(副議長)あいさつ】

三木市で初開催となる「女性議会」を通じて、私が最も強く実感したのは、**意思決定の場に女性がしっかりと参画し、多様な声が反映されることの大切さ**です。

意思決定の場は 地域社会、職場、学校、政治などあらゆる場面にあり、これは**「誰もが暮らしやすい社会『三木市』」**をつくると確信します。

本日の経験は、私たちにとっては**「ほんの小さな1歩」**かもしれません。しかし、三木市にとっては、**未来へ繋ぐ「大きな1歩」となった**、と私は思いました。**（一部抜粋）**

感想② 「女性議会」に参加して

今年のみきウィメンズすてっぷあっぷ塾では、最終回に「女性会議」を体験しました。すてっぷあっぷ塾に参加するまでは市議会なんて傍聴すらしたことがなかったので、**「本当に私にできるのだろうか」**と不安に思いながらも、**「これはすごい経験ができる」**と少しワクワクした気持ちもありました。

今年の塾生は７名。みんなそれぞれ自分の生活の中で感じていた疑問や不安、思いを課題として取り上げ、質問が偏らないように相談しながら原稿を仕上げました。

女性議会では「声が震えてしまうのでは」と心配しましたが、当日までの講座で、声がきれいに届くマイクの角度を確認したり、声の高さを指導してもらったりしたので、そこまで緊張することなく質問ができたと思います。



難しかったのは、持ち時間（１人 15分）が決まっている中、質問を厳選することでした。聞きたいことや伝えたい思いはいろいろありましたが、それらを制限時間の中でまとめることが難しかったです。

私は今まで、「三木市の人口がどれくらいか」といったことも知らないくらい市政について無関心でしたが、今回女性議会に参加して、**より三木市のことや議会について興味を持つことができました。**講座内で議会の傍聴にも行きましたが、それ以外にもラジオで議会を聞くようにもなりました。

女性議会への参加は、私にとって、三木市を知り、考えるきっかけとなる貴重な経験でした。これまでは遠い存在だった「市政」や「議会」が、今回の経験を通して少し身近なものになったように感じます。

これからも、日々の暮らしの中で感じる「もっとこうなったらいいな」という小さな気づきを大切にしながら、三木市のことを自分ごととして考えていきたいと思います。

（すてっぷあっぷ塾受講生）

11月のセミナー情報

14日	男性のための簡単料理講座 ※申込は締め切りました。
25日	弁護士による法律セミナー
26日	出前講座（別所町公民館）
28日	出前講座（細川町公民館）

詳しくはこちら

市ホームページ
「男女共同参画センター11月の予定」▶

そのほかの受講生の感想

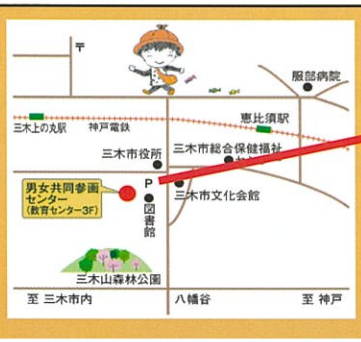


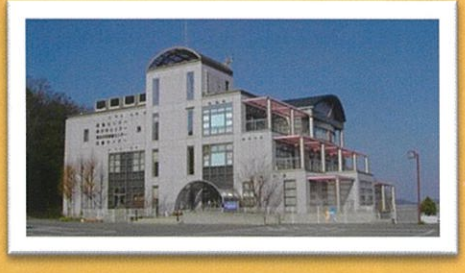
自分だけでなく、色んな人に相談したり、感想を聞いたり意見交換できたことが良かったです。



議場に入った事も、質問や要望を述べられた事も、本当に良い経験になりました。

三木市立教育センターご案内





三木市福井1933-12 教育センター3階
TEL:0794-89-2331 FAX:0794-82-8120
開館日時：月曜～金曜９時～16時30分（祝日を除く）

三木市男女共同参画センター
（愛称：こらぼーよ）

ホームページはこちら

バックナンバーはこちら

企画・編集：情報誌こらぼーよ編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター